

新しい年をどのようにお迎えになりましたか？ ご承知のように教会は、元旦を「世界平和の日」と定め、世界平和への思いと行動を新たにし、祈ることを奨励しています。教皇様は、毎年全世界に向けてメッセージを送られます。2019年度のメッセージの中に、ベトナムのグエン枢機卿の「政治家の真福8端」を引用されています。

『自分の役割に対して高い意識と深い理解を持つ政治家は、幸いである。

信頼できる人柄の政治家は、幸いである。

自分の利益のためにではなく、共通善のために働く政治家は、幸いである。

一貫して忠実である政治家は、幸いである。

一致を実現する政治家は、幸いである

抜本的改革を行うため尽力する政治家は、幸いである。

耳を傾けることのできる政治家は、幸いである。

ひるまない政治家は、幸いである。』

教皇様のメッセージのタイトルは、「良い政治は平和に寄与する」でしたので、政治家という言葉が使われていますが、私たちは、それを「私とあなた」と変えて読めばいいと思います。私たちは世界平和のために働き・祈ることを求められているからです。具体的な一つの行動として、2018年のメッセージでは、弱い立場の人―難民・移住者・人身売買の犠牲者―の受け入れ、守り、促進、共生する取り組みを勧めておられます。私達も自分になかった取り組みを考え、実行したいものです。私たちの小さな取り組みでも、世界平和への小さな歩みに貢献できることを、確信しています。平和の君であるイエス様とマリア様がともに歩んでくださるからです。

新しい年が平和の実りの年でありますように。 あけましておめでとうございます。